2025　年度　授業計画(シラバス)

学　科	臨床工学技士科(昼間部)	科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	チーム医療論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対象学年	3年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担当教員	義久 靖宏	実務経験とその関連資格	看護師と臨床工学技士のライセンス保有　准看護師時代も含め透析室で看護師経験15年勤務臨床工学技士として、透析室・手術室で11年勤務		

《授業科目における学習内容》

チーム医療としての臨床工学技士の立場を理解するため各業務におけるチームの働きを学ぶ

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験：70%
2. 出席点：20%
3. 平常点：10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

新体系　看護学全書基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ　メヂカルフレンド社

《授業外における学習方法》

講義・演習後の復習を行うこと。

《履修に当たっての留意点》

授業はオムニバス形式で行います。看護の業務や役割を学ぶことで、同じ医療者の一員として多職種連携の必要性を考えて欲しいと思います。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療を理解できる	教科書	講義後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	チーム医療とは		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝領域でのチーム医療を理解する	教科書	講義後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	代謝領域でのチーム医療論		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸管理、集中治療でのチーム医療を理解する	教科書	講義後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	呼吸管理、集中治療でのチーム医療論		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸管理、集中治療でのチーム医療を理解する	教科書	講義後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	呼吸管理、集中治療でのチーム医療論		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	周術期でのチーム医療を理解する	教科書	講義後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	周術期でのチーム医療論		

<table>
<tr><th colspan="2">授業の方法</th><th colspan="2">内　　容</th><th>使用教材</th><th>授業以外での準備学習の具体的な内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第6回</td><td rowspan="2">講義形式</td><td>授業を通じての到達目標</td><td>周術期（外科）でのチーム医療を理解する</td><td rowspan="2">教科書</td><td rowspan="2">講義後の復習をしておくこと。</td></tr>
<tr><td>各コマにおける授業予定</td><td>周術期でのチーム医療論</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第7回</td><td rowspan="2">講義形式</td><td>授業を通じての到達目標</td><td>循環領域（内科）でのチーム医療を理解する</td><td rowspan="2">教科書</td><td rowspan="2">講義後の復習をしておくこと。</td></tr>
<tr><td>各コマにおける授業予定</td><td>循環領域でのチーム医療論</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第8回</td><td rowspan="2">演習形式</td><td>授業を通じての到達目標</td><td>病院内で各職種の専門性を尊重したチーム医療が理解できる</td><td rowspan="2">教科書</td><td rowspan="2">講義後の復習をしておくこと。</td></tr>
<tr><td>各コマにおける授業予定</td><td>学習のまとめ</td></tr>
</table>